

# 岩泉保健医療調整本部@岩泉町役場

Team：八重桜（C班）

キャッチフレーズ：Hard and Heart



# 岩泉保健医療調整本部の活動

- ✓現場突入「矢巾～岩泉」
- ✓岩泉町での活動
  - ・本部立ち上げ
  - ・病院・福祉施設スクリーニング
  - ・避難所スクリーニング
- ✓合同会議・活動方針決定
- ✓まとめ
- ✓特別講演：岩手県 岩泉町役場 危機管理監 兼危機管理課長 佐々木 重光 様

「岩泉町の災害対応について@平成28年台風10号と令和元年台風19号」

目的：岩泉役場にて保健医療調整本部の立ち上げ

経路

**確定**

岩手医科大学病院→岩泉町役場

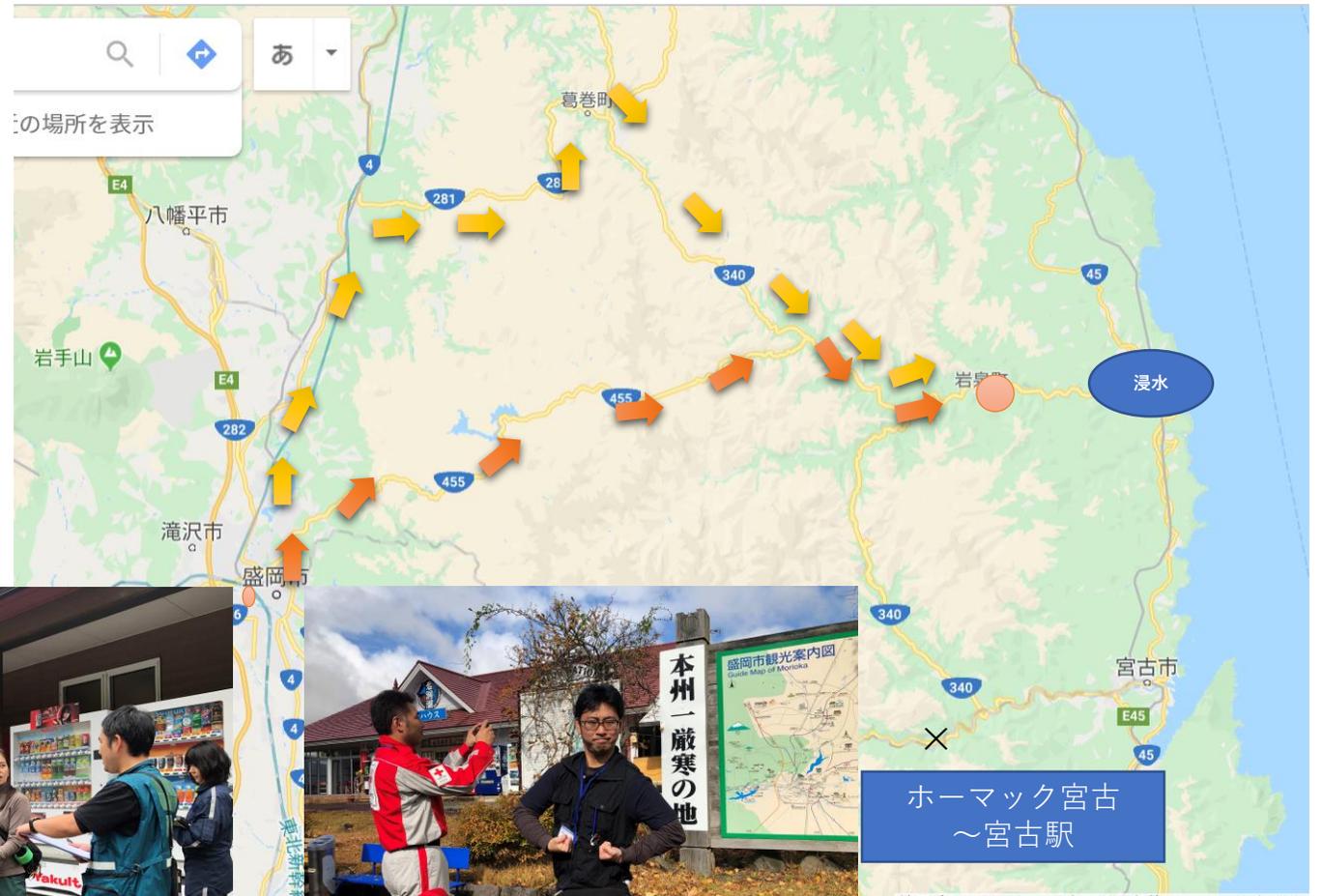
10/22：時点

予定ルート)

岩手医大→4→455→役場

迂回ルート①)

岩手医大→4→281→340→役場



# ①本部立ち上げ

- ・立ち上げ（レイアウト）
- ・昼食づくり
- ・ラップポン設置（屋外）



**岩泉町役場**  
 本部長：菊池  
 副本部長：柴田  
 担当：寺澤  
 090-8578-8596

- 記録：**阿部
- 連絡：**竹澤
- EMIS：**瓦
- J-SPEED** 水野、村上
- 現地活動：**
  - ①瓦・水野
  - ②村上・内藤



本部:  
副本:  
連絡:  
記録:  
資機:

# ②病院・福祉施設スクリーニング

2019/10/23 15:00		区分	ライフライン								食料	転送	受入れ	
			電気	水	医療ガス	医薬品								
病院	済生会岩泉病院 (80床・入院●名・職員50名)		30時間	5時間	2日	2日				1日	不要			トイレ使用できない→支援必要 職員疲弊→具体的な職種確認中
老健施設 他	百楽苑 (入所115名)		発電機	不明	不要	不要				1日	不要			現状医療ニーズないが、入所者は医療介入（吸痰、経管栄養）を行っていたり、認知症の方も多い。 職員不足→支援（看護師・介護士など）必要（10-15名希望）

病院:

- ・ライフライン不通
- ・食料不足
- ・トイレ使用不可
- ・職員疲弊
- ・医薬品不足（降圧薬、セフェム抗生物質、生食）

対応:

- ・ライフライン、食料は手配済
- ・医薬品については上位組織報告
- ・現スタッフ数、支援のスタッフ人数再確認  
→再依頼

百楽苑:

- ・ライフライン不通
- ・食料不足（経管栄養含）
- ・トイレ使用不可
- ・職員疲弊

対応:

- ・ライフライン（特に水）について残量・必要量確認
- ・食料は量を確認  
→再依頼
- ・支援スタッフ（看護、介護、事務など）依頼

# ③避難所スクリーニング

20191023 15:00		避難者数	施設の 広さ	密度	医療状況	環境的側面 ライフライン	設備	衛生面	食事と水	配慮が必要な人
岩泉小学校	昼276 (男125、女151)	30×40	過密	10/22詳細不明であるが診	電気：不通 ガス：不通 水道：不通 通信：不通 飲料水（どれだけ持つかわからない）	設備はあるがライフライン不通のため使用不可	不良	1日1回 補給要請あり	妊婦2名 乳児1名 HD6名 在宅酸素3名（残1日） 不眠・不安訴えの人+	
				なし	電気：不通 ガス：不通 水道：不通 通信：不通 飲料水（どれだけ持つかわからない）	トイレと喫煙所のみあり	不良	不明 補給要請あり	HD：4名 全員高齢者で 服薬できていない人多数	
				2医師会訪問診療ありは不明	電気：不通（自家発電残不明） ガス：不通 水道：不通（井戸水で対応中） 通信：不通 飲料水（どれだけ持つかわからない）	トイレと喫煙所のみあり	不良	1日1回 補給要請あり	妊婦1名（中期） 乳児2名（6か月と1歳前） HD:4名 食中毒や風邪症状、感染兆候あり	
小川生活改善センター	閉鎖									
大川小学校 半倒壊	友は100人程度	20×30m	過密					1日1回 補給要請あり	乳児1名 HD2名 嘔吐5名	
小本津波防災センター	昼156 (男71、女85) 夜183 (男85、女98)	10×35m	過密					1日1回 補給要請あり	妊婦3名 乳児2名 HD4名	



・建物の安全性不十分

→避難所移動

・透析患者

→病院選定：  
透析ネットワーク  
搬送：  
救護班含め調整

・内服薬喪失

→内服薬対応

・ライフライン  
食事供給

→上位組織報告

# 本部内会議・合同会議



- ・チーム内で、アセスメント内容の共有・問題点のピックアップした。

## 本部の明日以降の活動方針

→①追加チームの配分 ②避難所の再スクリーニング ③避難所対応（避難所移動、透析患者、投薬）

百楽苑、岩泉町役場（危機管理課）  
コントローラー：  
岩泉町役場（保健福祉課長）  
社会福祉協議会、歯科医師会、岩泉町保健師



- ・前述のアセスメント結果および問題点について会議の場で提示した。
- ・10月24日以降は朝・夕 2回の会議とすることを決定した。

# まとめ

## 良かった点

- ・ クロノロの質がよかった（と褒められた）
- ・ 時間内に進行できた（と褒められた）
- ・ EMIS活用、J-SPEED報告についても滞りなく行うことが出来た

## 改善点

- ・ 準備不足（事前情報、アセスメントシート）
- ・ 医療と福祉の違いを意識したアセスメント活動
- ・ 活動班内でのブリーフィング・情報共有

# 岩泉町役場危機管理監 佐々木重光様のお話

## 【要約】

- 東日本大震災の際には行政も準備が十分に出来ておらず、支援に入っただけの横の連携がうまくいかなかったため、各団体が独自で動いたり、情報が錯綜するなど効果的な活動が出来なかった。
- この反省から岩泉町役場では町長も含め防災士を200名（3か年）養成、防災避難所を8か所から52か所に増加、年に1回の合同訓練などの準備を行った結果、縦と横の連携がうまく図れるようになり、台風10号にも迅速に対応、今回の19号も早期の避難で27か所に800人が安全に避難するなどの実績に結び付いた。

## 【ポイント】

- 本部：全体把握、情報集約・収集、リソースの分配が重要
- 医療：まずは来ること、一緒に活動をし、中長期での対応支援を期待

## 【課題】

- 住民第一になるため、役場職員の安全、健康が2番目になってしまうため、体調不良などに陥る職員が発生してしまう。今後の対応が必要。



“私たちは決して忘れません”  
〈大災害からの教訓〉

\* 東日本大震災の津波に対して

- ㊦ 強い地震を感じたら
- ㊦ 波が襲って来る前に
- ㊦ みんなで逃げよう高台へ！

\* 台風10号災害に対して

- ㊦ 正しい避難路の事前確認
- ㊦ 家の周りの安全確認
- ㊦ 二人以上で必ず確認
- ㊦ うかつに増水河川に近づくな！

岩見

場



純米

